

上越・山スキー定番ルート

上越 ナルミズ沢源流・山スキー

2015年の怪我からリハビリを行いつつ、2016年夏にハイキングを再開した。今シーズンから山スキーを！ワンディからスタートして、いよいよテント泊の計画をしてみた。上越の山スキー定番ルートへ、布引山を越えてナルミズ沢にBC、右俣～大鳥帽子山と左俣左沢～朝日岳の2本とちょっと欲張って見た。まだナルミズの山スキーに行ったことがないという中村さんがパートナーとなってくれた。

【日程】

2017年4月15日(土)
～4月16日(日)

【メンバー】

木下(L)、中村

【地形図】

藤原、茂倉岳

【記】木下

4月15日(土) :曇り、一時雨

宝川温泉に車をデポして出発、はじめのうちは所々雪が切れるが、ほぼシールで林道をいける。今年は雪が多いようだ、林道の間地点にあるトンネルに入るのに2mほどの落差がある。板幽沢の橋まで2時間弱、今回ダブルキャンパー・ウロコ板/テレマークの中村さんの歩きは早い。「軽快だな」追いつくはずもないので所々で待ってもらいマイペースを守らせてもらう。

橋から布引山南東尾根に取付き順調に高度を稼ぐ。朝のうちは日も差していたが予報通り次第に雲が厚くなり、稜線に出る辺りから「ポツポツ」と降ってきた。視界がなくなる様子もないのが幸いだ。風も強くなり雨粒が大きくなってくる頃、布引山南峰に到着。手早にシールを剥がしてナルミズ側の西尾根に滑り込む。泊まりの荷物もさほど気にならずに快適な斜面を滑り降りる。予定通り1320m付近の岩峰脇にBCを設営、今日はここまで。水を作り、ビールで乾杯！と雨が一段と強くなってきた、一応読み通りでまずまず。

宝川源流の山やま



大鳥帽子岳からの滑降



4月16日(日) :晴

予想どおり、ぴかぴかの晴天、純白の山に囲まれて素晴らしい朝である。長丁場になるので6:30にはBCを出発。まずは大鳥帽子山を目指してナルミズ沢右俣を登る。雪面はまだガリガリで、はじめの1本は緩傾斜とはいえ緊張した。陽があたると雪は緩みだし、上々のコンディションとなってく

る。大烏帽子山は遠望すると「トンガリ・ピーク」だが、近づくとさほどの傾斜ではなくシールで登りきれる。頂上からは大パノラマ、谷川はもとより真っ白な奥利根、越後の山々が広がる。メジャーなルートなのに誰にも会わず独占だ～

展望を楽しんだら、待望の滑降。ノートラック・バーンに二人のシュプールを刻む、風になったように今まで稼いだ高度を解放する、山スキーの楽しいところだ。20分で二俣、快適な雪質を楽しんだ。途中、ワンディの単独の方とすれ違う、今回初めての人だ。素晴らしいエリアなのにアプローチの長い山は人も少ないのかなあ～

再びシールを付けて左俣左沢を詰める、順調に高度を稼いで2時間弱で朝日岳の山頂到着。ここも誰もいない、独占です。展望は谷川が一段と近くなり、東面の岸壁が迫力がある。

さて、2本目、純白の斜面に飛び込む。雪はやや腐ってきて重くなるが、気にはならない。やはりノートラックの斜面を飛ばす。BCまで20分ほど、登り2時間⇒滑降20程、山スキーは登っている時間が圧倒的に多いですが…この爽快感はたまりません。

BCで水を作り足したりして、のんびりとテントを撤収する。これから300mの登返し、少し憂うつだが仕方ない。重い腰を上げてマイペースで布引山へ。

布引山から楽しんだナルミズ源流の展望を目に収めて、最後の滑降。雪は腐り、スキーを回すのに一苦労。難しいスキー板の中村さんは苦戦、でもこの雪でよくテレマークターンできますねえ、さすがです。下部はほとんど消化試合、高度を落とす感じ…でもいろいろな雪質をこなすのも楽しい。林道からは私もヒールフリーでスキーを漕ぐ、宝川の瀬音も雪シロで一段と大きくなり春が来たことを実感しながらゴールへと向かった。

【行程】

4/15 宝川温泉 (7:05) ～板幽沢 (8:45) ～布引山南峰 (12:05-15) ～ナルミズ沢 1320m (12:45) BC

4/16 BC (6:30) ～ナルミズ沢右俣～大烏帽子山 (8:05-20) ～二俣 (8:40) ～左俣左沢～朝日岳 (10:30-11:00) ～BC (11:20-12:00) ～布引山南峰 (13:10) ～宝川温泉 (15:10)

朝日岳からの滑降

